

歌声、赤髪。

ペロズ ステーション

PERO'S
STATION



第84期

2021年4月1日～
2022年3月31日

決算のご報告

ワンピース フィルム レッド
ONE PIECE FILM
RED

原作・総合プロデューサー：尾田栄一郎
監督：谷口悟朗 脚本：黒岩 勉



東映アニメーション株式会社

株主の皆さまへ

海外戦略の三本柱で 文化・価値観の違いを乗り越え、 世界に作品を届けます

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

海外事業の売上比率が通期過去最高、 売上・各利益とも過去最高を記録

当期は、海外版權事業においてゲーム化権・商品化権販売が好調に推移したことや、国内外で映像配信事業が好調だったことから、前期比で増収増益となりました。収益性の高い海外事業の売上比率が通期過去最高を記録し、売上・各利益とも、過去最高を記録しました。

中長期の海外戦略について

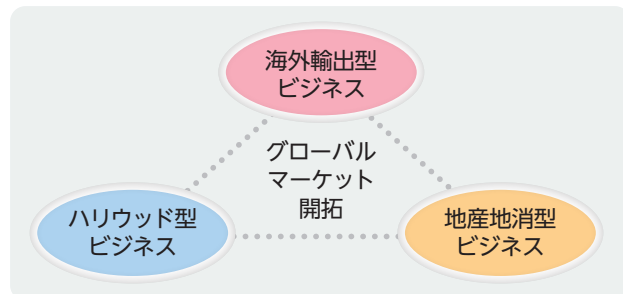
2020年時点でのグローバルのアニメ市場規模は30兆円※を超えています。それに対して当社の売上はこの本決算で570億円に過ぎません。世界市場はさらに拡大中であり、当社の事業の拡大余地は非常に大きいと考えています。その海外市場を開拓していく当社の海外戦略の三本柱を表したのが右図です。

※「Animation market size worldwide 2020」より。1米ドル=113.7円で計算

【海外輸出型ビジネス】は、これまで当社がメインに取り組んできた海外事業です。日本で作ったIPを、それが受け



■ 海外戦略の三本柱



入れられやすい海外の国・地域を狙って展開し、利益を得るモデルで、特に近年の当社の業績をよく支え、大きく伸ばしてくれました。一方で、文化や価値観の違う国には受け入れられにくく、さまざまな規制に阻まれるなど、当社の力を100%出し切ることが難しいモデルでもあります。そこで、2本目の柱となる【ハリウッド型ビジネス】に注力を始めています。日本のアニメとしての流通網ではなく、世界の映画市場のメインストリームに乗せることで、アニメのコアファンだけでなく、世界に広く作品を届けるモデルです。3本目の柱が、【地産地消型ビジネス】です。特定の国・地域に入り

込み、現地のクリエイターとともにIPを作り上げ、浸透させるモデルです。「日本という外国のアニメーション」ではなく、「その国で生まれた作品」にすることで、文化・価値観の違いや対外規制による障壁を乗り越えられると考えています。

この3本のビジネスモデルで、「世界で『東映アニメーションブランド』を確立する」という目標に向け、映像製作・事業会社としての立場を世界的に強めていきます。具体的な作品と本数については、性質（横軸）とターゲット（縦軸）をもとに右図の4象限のとおり準備しています。

▶ 第1象限(右上) 世界向けオリジナルIP

現在最も注力している象限です。東映アニメーションの名前をより周知し、外部の状況に左右されない確固たる地位を確立するため、自社IPを強化していきます。公表されている作品では、数年前から準備を進めている「The Monkey Prince (仮)」や「KAIJU DECODE 怪獣デコード」がここに位置します。世界的にも有名な韓国の総合エンターテインメント企業・CJ ENMとの業務提携協定による、グローバル市場向けのIP創出も進めていきます。

▶ 第2象限(左上) 世界向け原作IP

次に準備している作品数が多い象限です。魅力的なストーリーやキャラクターがすでに構築され、ファンがついている原作を、世界的に展開することで大規模な収益化を狙います。現在公表されている作品では、映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」[ONE PIECE FILM RED][SLAM DUNK](タイトル未定)、ハリウッド実写版の「Knights of the Zodiac (聖闘士星矢)」が挙げられます。

▶ 第3象限(左下) 国内向け原作IP

▶ 第4象限(右下) 国内向けオリジナルIP

当社がこれまで最も活発に展開してきた得意分野ですが、

■ 中長期のIPポートフォリオ



国内は少子化などの要因で成長性が低いと見込まれています。国内が主なターゲットであっても、最終的には国内に留まらず世界でヒットし収益を上げられるIPとなるよう、意識して構築していく方針です。

以上のように、左の2象限で既存のファン層を活かして安定的にヒット作品を作り、そこで生まれた利益を原資として右の2象限の取組みを行います。これまで培ってきた海外ビジネスのノウハウやネットワークを最大限に活かして新たな市場を開拓するとともに、そこで得た知見を全体の展開の活性化につなげ、良いサイクルを生み出すことを目指します。

海外向け作品の準備はようやく整ってきたところですが、作品本数や展開時期などは、今後随時アップデートしていく所存です。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともよりいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長

高木 勝裕

作品への想いと「目指すもの」

2021年11月に放送1,000話到達、「ワノ国編」も佳境を迎え、ますます勢いを増すテレビアニメ「ONE PIECE」。テレビアニメ初代プロデューサーであり、劇場版最新作「ONE PIECE FILM RED」のプロデューサーを務める清水慎治顧問に、劇場版「ONE PIECE FILM RED」に懸ける想い、プロデューサーとしての心得などについてインタビューしました。

劇場版

「ONE PIECE FILM RED」

プロデューサー

清水 慎治

プロフィール

1977年入社。当社プロデューサーとして「蒼き伝説 シュート!」「ゲゲの鬼太郎」「金田一少年の事件簿」「ONE PIECE」など、数々の作品を担当。2020年、顧問に就任。



Q1 劇場版「ONE PIECE FILM RED」の企画意図や見どころを教えてください。

何と言っても、今作は原作者の尾田栄一郎さんが総合プロデューサーという肩書でガッチリ参加してくれていることです。尾田さんの映画への関わりは、「ONE PIECE FILM STRONG WORLD」の時よりすごいと思います。映画のキャラクター原案、ポスターなど、原作者としてのチェックの協力はもちろんですが、総合プロデューサーとしてその他あらゆる案件に積極的に関わってくれています。週刊連載をしていて、しかも「ワノ国編」の佳境で大変な状況のようですが、本当に頭が下がります。

尾田さんからは、最初に「女性を重要な役で出してほしい」と言われました。いつもと違う「ONE PIECE」を狙っているのだ、と思いました。今回は監督に谷口悟朗さんを外部より招聘していたので、いつもと違う「ONE PIECE」を作

る体制を敷きました。大泉スタジオの製作スタッフと良い意味で刺激しあい、すごい映像づくりに挑戦してもらっています。

映画の内容について、この「PERO'S ステーション」がお手元に届くころには情報もリリースされているはずなので、今話しても問題ないと思うのですが、私は原作者公認の「ペラペラの実」の能力者なので、みんなからきつく一言をチェックされていまして……（笑）。あまり話さない方がいいかな。申し訳ございません。

Q2 プロデューサーとして、作品製作に携わるうえで心掛けていることはありますか。

アニメーションは集団作業です。私は製作出身ですが、当時、プロデューサーは仰ぎ見る存在でした。プロデューサーの一挙手一投足は、見ていなくても見えるんです。雰囲気

というのでしょうか、感じます。ですから、プロデューサーは作品の旗を持っている責任があると思うんです。好調でないときはいつもより明るく意識的に元気に振る舞い、好調なときは静かに控えていて、次の手を考えるぐらいの気持ちの余裕を持つことが大切なのかな、と思っています。

Q3 テレビアニメ「ONE PIECE」初回放送から20年以上が経ち、アニメを取り巻く環境もずいぶん変わりました。清水さんが思うアニメーション業界の一番の変化は何でしょうか。

一番はやはり製作のデジタル化です。アナログからデジタル。私は編集をやっていましたが、作り方が根本から変わりました。驚いちゃいますよね。まさに浦島太郎の心境です。ただ、アニメづくりの方法論は違ってても、目指すものは同じです。楽しいアニメーションを作ること。世界中の

人々にエンターテインメントを届けること。そこは変わりません。

もう少し英語ができれば、と後悔するようなことも多々ありました。しかし、我々にはアニメ言語という武器があります。若い人にはぜひ世界へ羽ばたいてもらいたいと思います。

Q4 最後に株主の方へ一言お願いします。

劇場版「ONE PIECE FILM RED」、いつもながら製作は追い込み作業が大変です。でも、楽しみに待っているファンの皆さんのためにも、尾田さんの八面六臂の活躍に報いるためにも、絶対に大成功したい。させたい。その想いで、谷口監督以下スタッフ、関係者一丸となって頑張っています。ご期待ください。私は静かに、次の手を考えています。

「ONE PIECE FILM RED」

ストーリー

世界で最も愛されている歌手、ウタ。素性を隠したまま発信するその歌声は“別次元”と評されていた。そんな彼女が初めて公の前に姿を現すライブが開催される。色めき立つ海賊たち、目を光らせる海軍、そして何も知らずにただ彼女の歌声を楽しみにきたルフィ率いる麦わらの一味たち、ありとあらゆるウタファンが会場を埋め尽くす中、今まさに全世界待望の歌声が響き渡ろうとしていた。物語は、彼女が“シャンクスの娘”という衝撃の事実から動き出す—。

公式サイト www.onepiece-film.jp

2022年8月6日公開予定

スタッフ

原作・総合プロデューサー：尾田栄一郎
監督：谷口悟朗
脚本：黒岩勉
キャラクターデザイン・総作画監督：佐藤雅将
美術監督・美術設定：加藤浩
色彩設計：横山さよ子
CGディレクター：川崎健太郎
撮影監督：江間常高
製作担当：吉田智哉

キャスト

田中真弓、中井和哉、岡村明美、山口勝平、
平田広明、大谷育江、山口由里子、矢尾一樹、
チョー、宝亀克寿／池田秀一



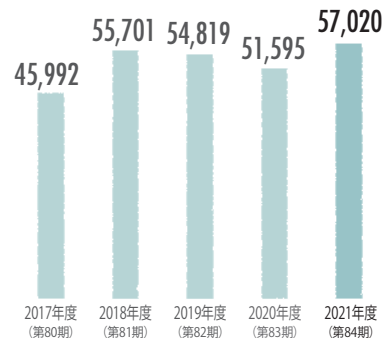
決算のご報告

2021年4月1日～2022年3月31日（第84期連結会計年度） ※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

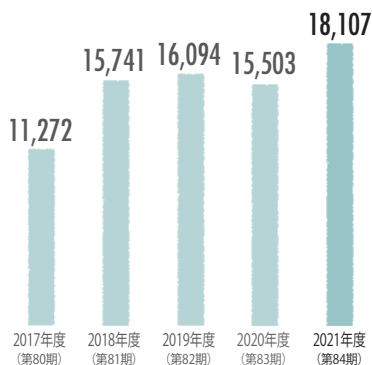
当連結会計年度において、当社グループは、「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図るとともに、特に海外での著作権事業および国内外での映像配信事業に引き続き注力しました。

この結果、売上高は、570億20百万円（前期比10.5%増）、営業利益は181億7百万円（同16.8%増）、経常利益は188億22百万円（同17.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は128億20百万円（同15.8%増）となりました。

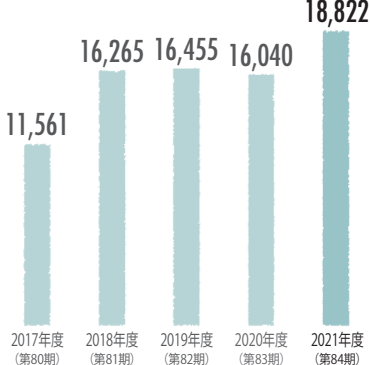
連結売上高（百万円）



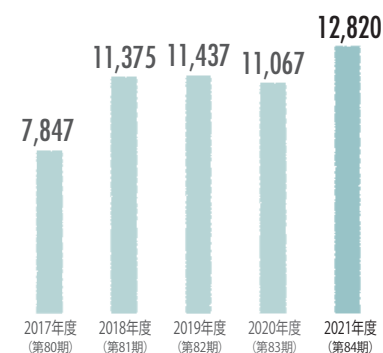
連結営業利益（百万円）



連結経常利益（百万円）



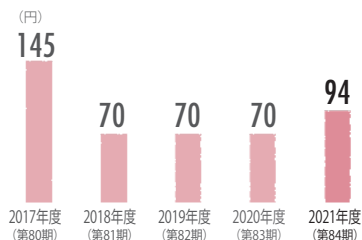
親会社株主に帰属する
連結当期純利益（百万円）



配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としています。当期の年間配当金につきましては、1株当たり94円としました。

※ 当社は2018年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。
第80期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

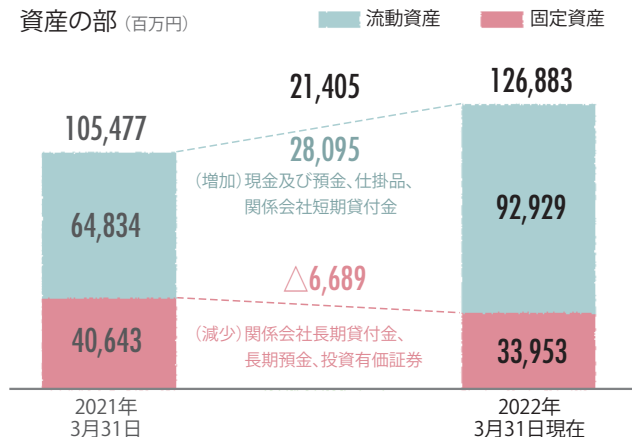


詳細な財務情報のご案内

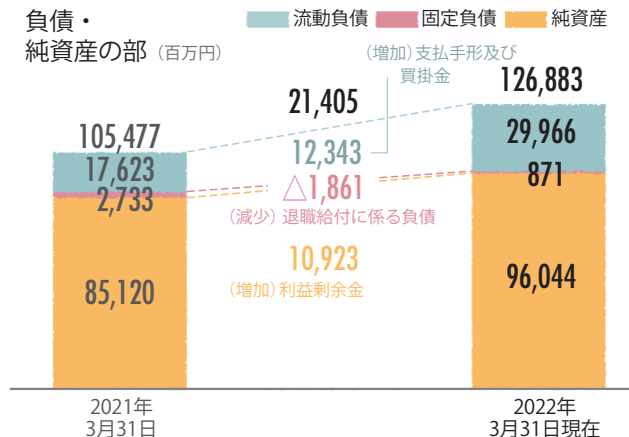
☐ 当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しています。【IR情報】 <https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir.html>

連結貸借対照表

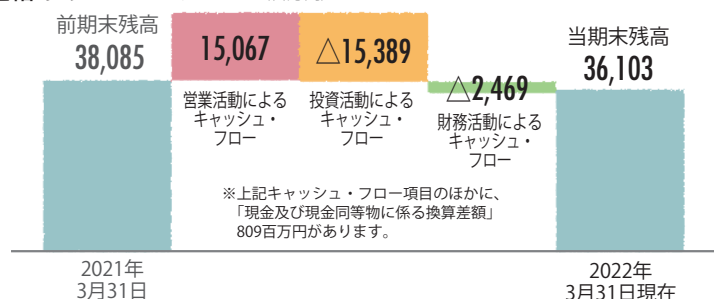
資産の部 (百万円)



負債・純資産の部 (百万円)



連結キャッシュ・フロー (百万円)



POINT

引き続き安定した財政状態を維持しています。総資産は前期末より20.3%増加し1,268億83百万円、純資産は12.8%増加し960億44百万円、自己資本比率は75.7%と高い水準となっています。

第85期見通し

当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品群からの安定的な収益の確保・拡大を図るとともに、海外事業に引き続き注力します。

併せて、当社の多彩なライブラリー作品群、そして今後創作する新作品／新作話からなる魅力的、かつインパクトのある「IP(=Intellectual Property: 映像・キャラクターの著作権や商標権などの知的財産権)」を事業戦略の軸とし、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るとともに、世界に冠たる「東映アニメーションブランド」の確立を目指します。

テレビアニメ作品では、「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」、「ワンピース」、「デリシャスパーティ♡プリキュア」、「デジモンゴーストゲーム」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」、「おしりたんてい」、「ミラキュラス レディバグ&シャノワール」を放映します。劇場アニメ作品は、「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」(2022年6月11日公開)、「ONE PIECE FILM RED」(2022年8月6日公開予定)、「SLAM DUNK」(タイトル未定)(2022年秋公開予定)といった大型作品を含め、「映画デリシャスパーティ♡プリキュア」(2022年秋公開予定)、新作「映画おしりたんてい」(公開時期未定)を製作・公開予定です。

2022年度(第85期)
連結業績予想

売上高	70,000 百万円
販管費	11,700 百万円
営業利益	18,300 百万円
経常利益	18,900 百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	13,500 百万円

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

売上構成比

テレビアニメや劇場アニメなどを企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、スマートデバイスなど、さまざまなメディアで展開しています。



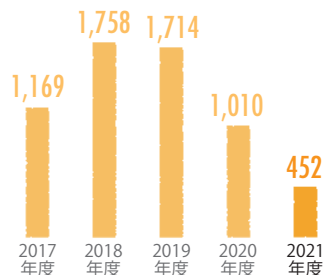
売上高 **207億69**百万円 前期比 **5.1%**増

劇場アニメ部門

「映画ヒーリングっど♥プリキュア」、映画「ジャーニー」、「東映まんがまつり」、「映画トロピカル〜ジュ!プリキュア」、「映画おしりたんてい シリアーティ」を公開しました。前年同期と比較して劇場公開本数が減ったことや、コロナ禍による影響から、大幅な減収となりました。

売上高 **4億52**百万円

売上高推移(百万円)

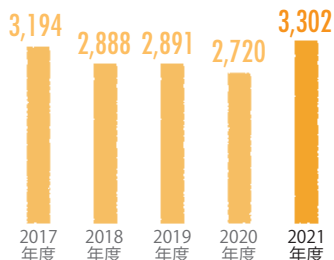


テレビアニメ部門

「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズ、「デジモン」シリーズ、「ワールドトリガー」など8作品を放映しました。放映本数が増えたことなどにより、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

売上高 **33億02**百万円

売上高推移(百万円)



Lineup of the year

〈劇場アニメ〉

映画「ドラゴンボール超スーパーヒーロー」

2022年
6月11日公開

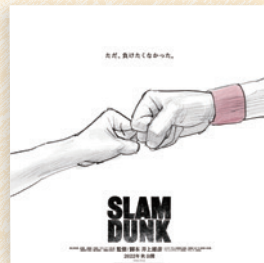


劇場版
「ONE PIECE FILM RED」

2022年
8月6日公開予定

映画「SLAM DUNK」
(タイトル未定)

2022年
秋公開予定



〈テレビアニメ〉



「デリシャスパーティ♡プリキュア」

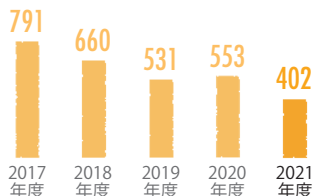
2022年
2月～

コンテンツ事業部門

前年同期好調に稼働した劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」のブルーレイ・DVDの反動減により、大幅な減収となりました。

売上高 **4億02**百万円

売上高推移(百万円)

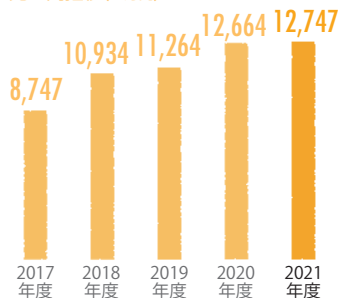


海外映像部門

アジア向け映像配信権販売が好調に稼働したものの、前年同期にあったサウジアラビア向け劇場作品納品の反動減などから、ほぼ横ばいとなりました。

売上高 **127億47**百万円

売上高推移(百万円)

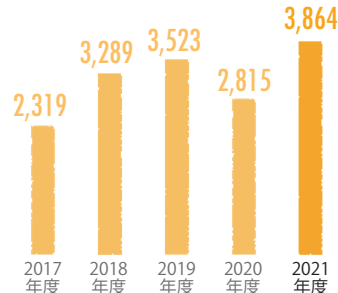


その他部門

国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

売上高 **38億64**百万円

売上高推移(百万円)



Lineup of the year



Blu-ray
「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」

台湾向け劇場上映用ポスター
「おしりたんてい スフーレ島のひみつ」



映像配信サイト
『Netflix』



映像配信サイト
『Amazonプライム・ビデオ』

版権事業

売上構成比

テレビ放映や劇場公開などと連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品などの商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。



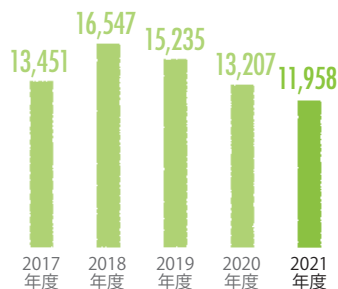
売上高 **329億95百万円** 前期比 **13.8%増**

国内版権部門

「ワンピース」などの商品化権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことなどから、減収となりました。

売上高 **119億58百万円**

売上高推移(百万円)

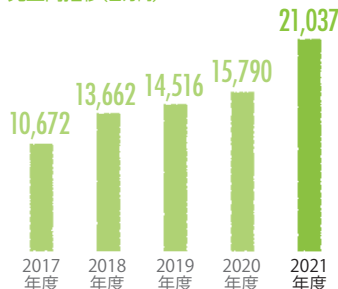


海外版権部門

「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」のゲーム化権販売に加え、「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」、「デジモンアドベンチャー」シリーズの商品化権販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

売上高 **210億37百万円**

売上高推移(百万円)



Lineup of the year



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワールドトリガー」、
「聖闘士星矢」シリーズ
国内展開商品

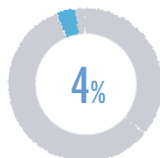


「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、
「おしりたんてい」
海外展開商品

商品販売事業

売上構成比

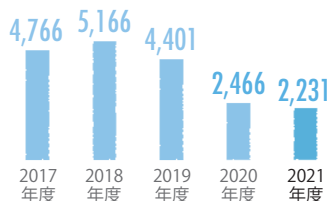
著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。また、イベントや店舗での直接販売も行っています。



売上高 **22億31**百万円 前期比 **9.5%減**

「ワールドトリガー」のショップ事業が好調に稼働したものの、新型コロナウイルスの影響の長期化に加え、前年同期に稼働した「美少女戦士セーラームーンEternal」の劇場公開に向けたタイアップ・キャンペーン向けノベルティグッズなどの販売の反動減などから、減収となりました。

売上高推移(百万円)



その他事業

売上構成比

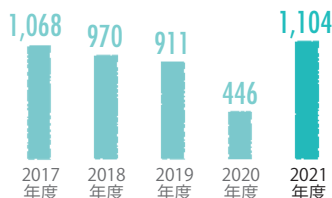
催事やキャラクターショー、ミュージカルなどのイベントの企画・運営を行っています。



売上高 **11億04**百万円 前期比 **147.2%増**

「プリキュア」シリーズなどの催事が好調に稼働し大幅な増収となりましたが、新型コロナウイルスの影響の長期化による複数の催事イベントの規模縮小により、全体の収益性は低下しました。

売上高推移(百万円)



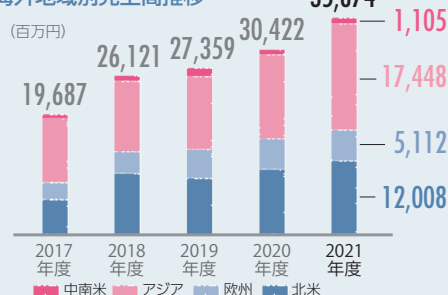
海外での事業展開



国内・海外売上構成比



海外地域別売上高推移



※セグメント間取引額を含んでいます。

Lineup of the year



「プリキュアアーティストストア」東京店

Lineup of the year



「美少女戦士セーラームーン イルミネーション-Eternal-」



2021年度
中間実施

株主さまアンケート結果のご報告

2021年12月に実施しました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました1,700名近くの株主さまの中から厳正なる抽選を行い、300名の皆さまに「ワンピース」2022年カレンダーを送付しました。今回もアンケート結果のご報告として、皆さまより頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントを紹介します。

アンケート回収状況

回答数 1,654名
株主数 7,341名※

※2021年9月末時点

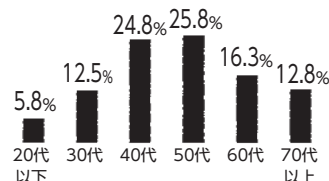
回収率

22.5%

ご回答者の属性



年代別 (無回答2.1%)



当社に投資された理由をお聞かせください

今後も健全なアニメ業界の目標となる活動に期待します。(50代男性)

幼い頃から親しんだアニメを制作する会社だから。(50代無回答)

親子で「SLAM DUNK」「ワンピース」の大ファンです。(30代女性)

東映動画時代に大ファンでした。(50代男性)

安定性、努力性、将来性。(70代男性)

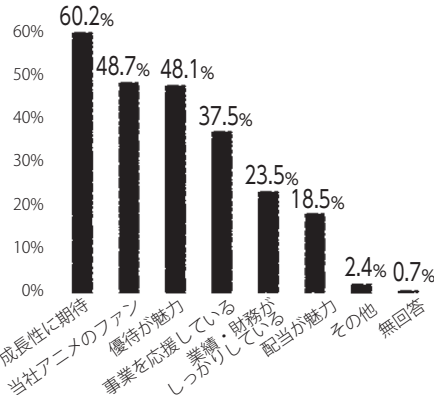
アニメ文化への貢献の一助になればとの想い。(40代男性)

貴社の持つIPコンテンツに魅力がある。(50代男性)

過去最高売上、利益でまだまだ伸びる。(50代女性)

日本を代表する産業だから。(50代男性)

日本の文化なので応援したい。(40代女性)



アンケートご協力をお願い 締切日：2022年7月22日(金)

担当者より 株主の皆さまとより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いします。ご回答いただきました方の中から抽選で500名様に「ワンピース」、「デリシャスパーティ♡プリキュア」のクリアファイルセットを進呈します。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



皆さまからのご意見・ご質問

Q1

海外展開が気になるところです。「第84期 第2四半期のご報告」の特集は、海外展開の状況がよくわかり、とてもよかったです。(50代女性)

Q2

ハリウッドビジネスの成功を応援しています。(50代男性)

皆さまから、前号特集*について多くのコメントをいただきました。前号記載のとおり、日本アニメの海外輸出売上は大きく成長していますが、グローバルマーケットの中ではニッチ市場です。当社は企画・製作・営業のワンストップのアニメビジネス機能と、長年にわたる海外展開の経験という強みを持っています。この強みを活かして、ハリウッド型ビジネスの確立を目指していきます。

* 前号の「PERO'Sステーション」は、当社Webサイト「IR情報」よりPDFでご覧いただけます。

Q3

「ワールドトリガー」を毎週楽しみにしています。これからも楽しいコンテンツを作り続けてください！(40代男性)

「ワールドトリガー」を毎週ご視聴いただき、ありがとうございました。当社としてもクオリティにこだわり製作した作品となっています。3rdシーズンの放送は終了となりましたが、今後もさまざまな展開を予定しています。楽しみにお待ちしております。

Q4

東証の再編で今後どうなるのか不安。(40代男性)

東証の市場区分の見直しについては、2021年12月20日付でスタンダード市場への上場選択を決定しています。しかしながら、同日の適時開示「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」で発表のとおり、スタンダード市場の上場維持基準のうち、流通株式比率を満たしていません。現在、事業法人等に区分される株主さまに対し、その所有する当社株式の全部または一部を売却するよう働きかけを行い、上場維持基準充足を目指しています。また、新たな決定事項がありましたら速やかに開示します。

Q5

オンラインイベントがすごく楽しみです。できれば声優さんのインタビューがあると嬉しいです。(70代以上女性)

オンラインイベントについても、皆さまから期待の声をたくさん頂戴しました。2022年3月に実施したイベントでは、当社のAI技術開発の状況報告と野沢雅子さん・古川登志夫さんによる声優対談をお届けしました。AI技術開発は、製作現場がよりクリエイティブに専念できるようにすることを目指しており、実際に製作の効率化に貢献し始めています。声優対談は、滅多に聞くことができない貴重な内容となり、スタッフ側も大興奮でした。今後、ダイジェスト動画を掲載するので、あらためてお楽しみいただけますと幸いです。

株主優待のご案内

権利確定日：3月末日

贈呈基準

所有株式数	優待内容
100株以上	1セット (1,200円相当)
300株以上	2セット (2,400円相当)
500株以上	3セット (3,600円相当)
1,000株以上	5セット (6,000円相当)
3,000株以上	8セット (9,600円相当)
5,000株以上	10セット (12,000円相当)
10,000株以上	12セット (14,400円相当)

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

株主優待オリジナルの「キャラクター QUOカード」を贈呈

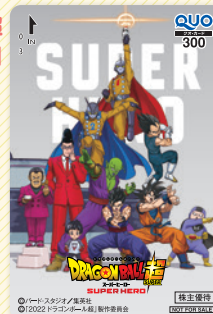
2022年3月期贈呈のQUOカード



「ドラゴンボール超
スーパーヒーロー」
2022年6月11日
公開作品

描き
おろし

「デリシャスパーティ♡プリキュア」
毎週日曜日 朝8:30～ ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「ひみつのアッコちゃん」

1969年1月6日～
1970年10月26日
放映



「グレートマジンガー対ゲッターロボ」
1975年3月21日公開作品

トピックス

株主さま限定オンラインイベントを開催しました！

2022年3月18日に、2回目となる「株主さま限定オンラインイベント」を開催しました。

今後も皆さまに楽しんでいただけるような企画を検討していきます。

企画のご希望などございましたら、アンケートの自由記述欄に記載いただけますと幸いです。

2022年3月18日 配信内容

- ① **東映アニメーションスペシャル対談**
野沢雅子さん・古川登志夫さんによる声優対談
- ② **最新製作技術紹介**
東映アニメーションで取り組んでいるAI技術の概要と事例紹介



会社情報 (2022年3月31日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 :856名 単体 :582名
上場市場*	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	https://corp.toei-anim.co.jp

※2022年4月4日以降は東証スタンダード

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催します。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告します。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL:0120-232-711(通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告方法	電子公告 https://corp.toei-anim.co.jp

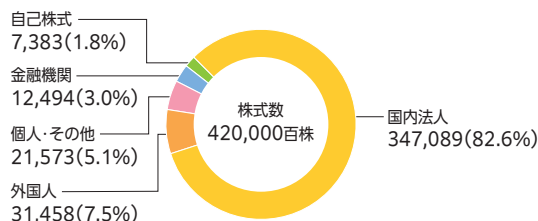
株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行済み株式総数	42,000,000株
株主数	7,661名

大株主(上位10社およびその状況)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
東映株式会社	141,000	33.6
株式会社テレビ朝日	82,509	19.6
株式会社バンダイナムコホールディングス	45,372	10.8
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	42,300	10.1
JP MORGAN CHASE BANK 380815	20,200	4.8
東映ビデオ株式会社	13,647	3.2
東映ラボ・テック株式会社	10,500	2.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニー株003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	7,800	1.9
株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	7,800	1.9
東映アニメーション株式会社	7,383	1.8

所有者別株式分布状況 (単位:百株)



お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

第85期上期

注目の 9 作品



「デリシャスパーティ♡プリキュア」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「デジモンゴーストゲーム」
毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「おしりたんてい」
毎週土曜日 朝9:00～
NHK Eテレビにて放映中



「ドラゴンクエスト ダイの大冒険」
毎週土曜日 朝9:30～
テレビ東京系列にて放映中



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」
毎週金曜日 午後6:40～
NHK Eテレビにて放映中



「ミラクユラス レディバグ&
シャノワール」
毎週土曜日 朝7:30～
テレビ東京系列にて放映中



映画「ドラゴンボール超
スーパーヒーロー」
2022年6月11日公開



劇場版「ONE PIECE FILM RED」
2022年8月6日公開予定

©集英社・テレビ朝日・本郷あきよし・フジテレビ・ABC-A・尾田栄一郎・2022「ワンピース」製作委員会・トロール・ポプラ社・おしりたんてい製作委員会・三条陸・稲田浩司・ダイの大冒険製作委員会・テレビ東京・SQUARE ENIX CO., LTD.・廣嶋玲子・jyajya・偕成社・銭天堂製作委員会・2022 SLAM DUNK Film Partners・バード・スタジオ・「2022ドラゴンボール超」製作委員会・車田正美・葦原大介・武内直子・PNP・劇場版「美少女戦士セーラームーンEternal」製作委員会・Troll・POPULAR・2021東映まんがまつり製作委員会・2019東映まんがまつり製作委員会・松本ぶりっつ・主婦の友社・ダイナミック企画・赤塚不二夫・Bandai Namco Entertainment Inc.・2022 ZAGTOON-METHOD- TOEI ANIMATION・東映アニメーション

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。



本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。